

# のこったボーリングのピンはいくつ? 視点2, 3

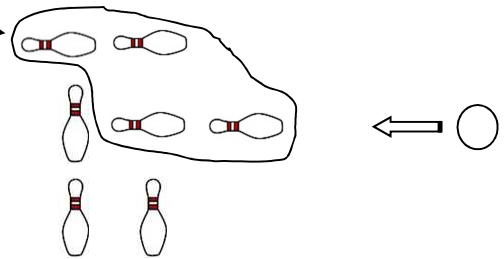
1. 単元名 のこりはいくつ ちがいはいくつ (1年生 6月)

## 2. 改善の動機・意図

本時はひき算の導入場面であり、たし算の合併の学習場面でも用いたボーリングゲームを行う。同じ活動であるが、「残りの数量を求める」という場面が異なる。そうすることで、別の演算が必要であるという見方を、イメージとしてとらえやすくなると考える。また、何回もゲームを行い、式に表す活動をくり返すことで、式の表し方の理解を深めていくことができるだろう。

## 3. 授業の構想

ボーリングをしました  
はじめに 7ほん あります  
1かいめに 4ほん たおれました  
のこりは なんほん ですか



C1 たし算の時とちがって「2かいめ」がないね。

「のこりは」って始めてでできたよ。

「のこり」ってどれ?

T1 じっさいにC2さんにやってもらいましょう。

C2 (ボーリングゲームの実演を行う)

T2 C2さんの「のこりのピン」はどれ? ←のこりのイメージをとらえやすくする

C3 たおれなかった方のピン。

T3 今日、みんなではっきりさせることは?

### <のこりはどうしたらわかるかな>

T4 お話を言いながら、ブロックを動かしてみよう。

C4 

C5 

C6 たおれた方のブロックは、今回は関係ないね。

C7 だから、たおれた方のブロックをとったり、色をかえたりしたんだね。

T5 C4さん、C5さんの動かし方をまねして、自分のブロックでも確かめてみましょう。

C8 ブロックを動かして、「のこり」をはっきりさせることができたよ。

C9 たし算の時とブロックの動かし方がちがうね。

T6 のこりをはっきりさせるために、たおれたピンの数だけブロックをとりました。

このような計算をひき算と言います。

式で表すと「 $7 - 4 = 3$  (7ひく4は3)」

言葉で表すと「はじめの数 - たおれた数 = のこりの数」

図の中の「はじめのかず」「たおれたかず」「のこりのかず」はどこ? ←図と式とを結びつける

T7 ボーリングゲームをして、自分の結果を式で表してみましょう。